

令和6年度 朝来市立（生野小）学校 学校評価

R6年度末はこの様式にて提出してください。

※文書表現で記入してください。

学校教育目標

つなぐ つくる 学び合う 行動する 生野っ子
～絆を大切にし 想像力をはたらかせ 学びを楽し
む 児童の育成～

総合的な学校関係者評価

・防災・防犯に関して生野町における「防火の日」（毎月6日）のサイレンについても児童に伝え、防災意識を高める。
・学校は数居が高いイメージがあったが、学校と連携して学校と関わる機会が増えたことでたくさん児童と顔見知りになり、プラスになることが多々あった。これからもこのような繋がりを大事にして学校と関わっていきたい。
・家庭や地域との繋がりを増やすためにも、HPを気軽に見てもらえるように校報「成徳」にQRコードをつけるなどよりたくさんの人に発信できれば良い。
・エリアコーディネーターとの連携を密にして、エリアコーディネーターから地域に呼びかけて学校に協力してもらえ人材を確保出来るようにしていく。
・自治協議会が中心となり、地域の人、施設を巻き込めて防犯・防災など子どもたちの安全を、守るための訓練などをぜひ企画していきたい。

自己評価 達成状況（A：達成している B：概ね達成している C：あまり達成していない D：達成していない）

評価の観点		達成状況	学校の取組状況・今後改善すべきこと	自己評価の妥当性 (評価項目ごとの学校関係者評価・意見等)	
学校運営	地域とともにある学校づくり	家庭や地域の人々への情報発信	B	定期的な通信やHP更新など情報の提供はできた。	校報「成徳」の内容をHPにも掲載するなど、より詳しい情報を発信していくために、QRコードを活用してはどうか。
		学校運営協議会活動の充実	B	何日かをフルにオープンにするオープンスクールを実施することや、その中で学校運営協議会と連絡を密に取り、地域の方をゲストティチャーに呼ぶなど学校と地域が連携した教育活動を進めていく。	地域人材は、区長会や地域自治協議会の運営委員会を活用して集めることが出来る。また単発の活動で終わるのではなく、継続した取り組みを今後の続けていってほしい。
	生徒指導	豊かな集団生活が営まれる学級づくり	B	特別活動を充実して進めていくことが出来た。今後児童会をより主体的に進めていけるように、見通しを持った児童会活動を計画、実施し児童主体の活動を増やしていきたい。	
		児童生徒の内面理解を図る指導の工夫	B	一人で抱え込むことなく生活指導委員会との連携や、生活アンケートを活用した早期対応が迅速にできた。SCやSSWとも連携した取組を行う。	
		いじめ、不登校、問題行動、ネットトラブル等への適切な対応	A	これからも未然防止・早期発見・早期対応に努め、保護者との連絡を密にし今後も心身共に健全な児童の育成に取り組む。	
	危機管理体制の整備	マニュアルの点検・見直し	B	避難訓練は計画的に実施できている。訓練後の振り返りを大切にして、その都度アップグレードに生かしていきたい。	地域と連携した避難訓練を実施していく。(いくの自治協議会との連携)
		地域課題に応じた防災、防犯教育の実施	B	通信などで防災や危険などの呼びかけや、こども園や見守り隊の方との連携を今後も継続していきたい。今年度より生野防犯まちづくりの会と連携した見守りウォークを再開した。	登校時の見守りはあるが、児童の安全を第一に考え、学校運営協議会と連携して児童の下校時の見守りについても地域の方をお願いしていきたい。
	特別支援教育	インクルーシブ教育の推進、校内の指導体制、個に応じた指導	B	自己表現が苦手な児童や思いの伝えられない児童にも寄り添い児童のよいところを伸ばすなど、個別対応が必要な児童を見逃さない指導体制の充実を図る。	
	安全安心に過ごすことができる学校づくり	熱中症対策 インフルエンザ等の対策	B	手洗いの励行・換気など継続して行うことが出来ており、感染症予防の対策は出来ている。ホール給食での感染症予防のための対策を考えていく必要がある。	今後も手を抜くことなく、出来ることをしっかりとて感染予防に努めることが大切だと考える。
	あさごドリームアップ事業	特色ある学校づくり	A	地域との連携により体験的な活動が推進できている。今後もふるさと学習を中心とした取り組みを継続していく。	
教育課程	自ら学び自ら考える力の育成	主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業づくりのUD化推進	B	全国学力学習状況調査の結果から、本校児童の課題として「話す・聞くこと」が上げられる。学校全体の教育活動において児童が主体的に対話できる場面の設定などスキルの向上に向けた取り組みを継続していく。また研修を充実させ全職員の共通理解のもと、UD化の推進を図る。	課題に対して、児童が関心を持って少しでも役に立つことを自分自身で取り組んでいけるようになれば良いと感じる。
	基礎・基本の定着と個に応じた学習指導の充実	指導内容・指導方法の工夫改善、評価方法の創意工夫	B	個に応じた指導の充実をこれからも図るティーム・ティーチング(同室複数指導)を効果的に活用した授業を行う。そのために授業前に打合せをするなど準備と指導の工夫を継続していく。	
	道徳教育	授業研究の充実と指導の工夫	B	児童の振り返りを通じて授業改善に努め、道徳的価値に近づくことが出来る発問の工夫を行い授業を計画していく。また情報モラル教育を計画的に実施する。	道徳の授業を見たが、授業中での発言を保護者も共有するなど保護者全体での参加も考えられる。
	情報教育	情報活用能力の育成に向けた指導改善	B	ICTの活用に向けて、児童だけではなく教師も指導力が向上するために研修を行い、活用能力を高めていく。	スマートフォンのルールが各家庭で様々なのが気になる。次年度は保護者向けの講話も計画されていると聞いており情報モラル教育を計画的に進めていってほしい。
課題教育	人権教育	人権尊重の精神の育成	B	学校での研修だけでなく、地域の人権学習会にも積極的に参加するなど人権意識を高め人権教育を充実させていく取り組みを継続していく。	
	体験活動の充実	自然学校、トライやる・ウィーク等を含めた体験活動の充実	A	自然学校を連合で行うことにより、他校との交流が出来、児童の知見も広がる。今後の学校生活に生かせるよう取り組みを充実させていく。	
	食育の推進	栄養教諭と連携した食育の推進	A	栄養教諭による食の指導や全校が集まるホール給食にて食育の推進を進めていくことができた。	
	キャリア教育	進路選択能力の育成・社会的自立に必要な態度や能力の育成	B	ふるさと教育の中で、地域と連携したキャリア教育の推進を図るとともに、各学年の教育課程と照らし合わせながら教育活動全体を通じてキャリア教育に取り組んで行くためにも計画的に進めていきたい。	
その他	・地域と連携した教育活動の展開 ・ふるさと学習の充実	A	様々な方をゲストティチャーに迎えふるさと学習を進めていくことが出来た。今後も継続して行いふるさと意識の醸成を図っていきたい。	日本遺産に係るカラミ石やトロッコ道、瓦といった鉱山にまつわる話についても今後つなげていけるように地域として協力していきたい。	